

大村市新幹線フル規格ニュース No.7

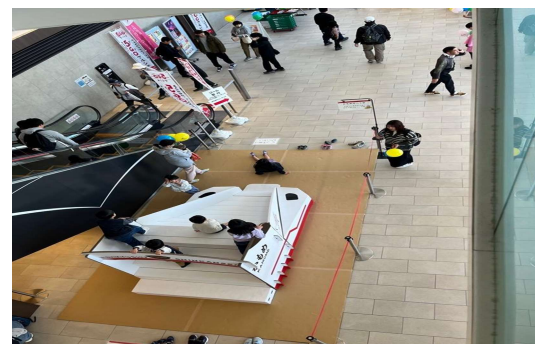


5 G O マ ル シ ョ 開催

11月23日、諫早駅で新幹線沿線市によるイベント「5 G O マ ル シ ョ」が開催されました。

当日は大村市をはじめ武雄市など沿線のお店が集合し、それぞれの物産を販売しました。

また、かもめすべり台の設置や風船配布など、家族連れなどで大いに賑わい、新幹線の利用促進につながるイベントになりました。



シンポジウム主催開催

12月16日、長崎市のホテルニュー長崎で「九州新幹線西九州ルート整備促進シンポジウム2024」が開催されました。

九州新幹線西九州ルート整備推進協議会が主催し、長崎県の大石知事をはじめ、大村市の園田市長ほか、関係自治体、経済団体等、長崎、佐賀両県から、およそ1,000名の方々が出席されました。

大石知事は全線フル規格化について「佐賀、福岡を含め西九州地域全体で効果を享受できる必要不可欠なもの。」と強調され、JR九州の松下常務も佐賀駅を通るルートが開業効果を最大化できる反面、佐賀空港経由の南回りルートは「所要時間が余計にかかり、運賃も高くなる。」と説明されました。

講演では、大阪産業大学の波床教授が直通運行の利便性について述べられ、フル規格で佐賀県と山陽新幹線が直結することで「佐賀市から大阪まで2時間台。リニア中央新幹線も使えば、東京まで4時間以内で行けるようになる。このことが、高度な産業立地をもたらす可能性がある。」というメリットを挙げられました。

また、パネルディスカッションでは、九州経済調査協会常務理事兼事業開発部長の岡野氏のコーディネートのもと、長崎商工会議所常議員・長崎

国際観光コンベンション協会会長の村木昭一郎氏、JTB総合研究所主席研究員の亀山秀一氏、九州教具代表取締役副社長の船橋佐知子氏、まちづくり福井代表取締役社長の松尾大輔氏の4名がパネリストとして登壇され、フル規格化で西九州地域から関西までの直通運行が実現することでもたらす効果を語られました。



大石知事挨拶



松下常務による現状報告



波床教授講演



パネルディスカッション

～ボランティア活動ありがとうございました！～

11月29日、本協議会の法人会員である（株）サニクリーン大村営業所様に松原駅の駅舎とトイレの清掃を実施していただきました。

降雨の中、11名の社員にお集まりいただき、誠にありがとうございました。

